

心ひとつに「Music Festival～音楽万歳～」開催！●2月28日●



市文化センター大ホールで開催された第1回目の Music Festival には650人を超える多くの方が来場し、第1部では「各学校による演奏」、第2部では「合同バンドによる演奏」が行われました。

「迫力のある演奏に感動した」「各学校の特色ある演奏が聴けてよかった」「来年も継続してほしい」等、温かい励ましの言葉を市民の皆さんからたくさんいただき、吹奏楽部員にとって大きな自信につながりました。

市内の吹奏楽部員が一堂に会し、心をひとつにして演奏し合ったこの Music Festival は、各学校の吹奏楽部員の練習意欲と技術の向上だけでなく確かな友情を育てました。

また、市民の皆さんに中学校吹奏楽部の活動を理解・支援していただくよい機会となりました。

「音楽ってすばらしい！音楽万歳」といった感動や音楽を愛する心が市全体に広がっていくよう、吹奏楽部活動の一層の充実を期待しています。



▲卒業を前に 思春期の性について

平成15年4月、県立小瀬高等学校と美和・緒川・御前山中学校との中高一貫教育がはじまりました。

教員の交流による授業や生徒間の交流などを通して連携を深め、進路希望実現を図り、一人ひとりの生徒たちの能力や可能性を伸ばし、郷土を愛する心や21世紀を担う「生きる力」を培うことを目指して実施してきました。

そして、当時、中学校に入学した生徒が、中高一貫教育6年間を経て、平成21年3月1日卒業していきましました。

それぞれの進路希望に対応し、生徒が将来の進路を見極めたうえで学

中高一貫教育

初の卒業生

習内容を選択することができるよう単位制を導入し、多様な教育課程を編成（6つの系列）し、進路達成に向けての指導体制を整えました。その結果、4年連続の茨城大学合格をはじめ、5年連続就職内定率100%の成果を挙げることができました。

年度・系列		進学			就職			在家庭	合計	備考
		大学	短大	専門学校	製造	福祉	販売			
20年度	文・理	4	2	1					7	
	事務			1	4		2		7	
	技能			2	4		3	1	10	
	教養	2	1	5	10		6		24	
	福祉			3	2	3			8	
	合計	6	3	12	20	3	11	1	56	

剣道大会で好成績収める

平成21年2月15日、那珂地区剣道錬成大会が那珂地区剣道連盟（佐藤和男会長）主催により、西部総合公園体育館で開催されました。

この大会は、1年交替で那珂市と常陸大宮市を会場に開催されているもので、36回目を数えます。

今回は常陸大宮市内からの参加団体が4部門すべてで優勝を果たしました。

●小学生の部（26）

優勝 世喜剣道クラブA

●中学生男子の部（11）

優勝 山方中学校

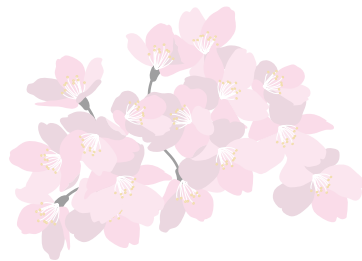
●中学生女子の部（9）

優勝 大宮中学校

●高校・一般の部（10）

優勝 大宮尚武館C

※（ ）内は出場チーム数



教育委員さんが 変わりました

任期満了により教育委員の岡崎怜子さん（上小瀬）と三次文子さん（盛金）が退任され、新たに2月23日付けで根本淳子さん（山方・写真右）と高沢たか江さん（小田野）が就任されました。

善意をありがとう

《新入学児童の安全を願って》



J A茨城みどりより通学帽の寄贈



常陽銀行大宮支店より防犯ブザーの寄贈

近郊交流卓球大会開催

3月1日、西部総合公園体育館において市卓球連盟（寺門信義会長）主催の、第3回常陸大宮市近郊交流卓球大会が開催されました。

茨城・栃木県内の中学校・卓球クラブ102チームが参加し、常陸大宮市と日立市の中学生の合同チーム、「日立大沼球友クラブJr A」が女子団体の部でみごと優勝しました。



東富町交番開設

3月21日から東富町交番の運用が開始されました。大宮地域全域を担当します。

なお、東富町交番の開設により世喜・大賀・玉川・大場駐在所は廃止となりました。

しいたけ駒打ち援農隊



3月7、8日にかけて、都市農村交流の一環として、農山村で農作業を手伝いたいという都市住民等を対象に、農家の作業軽減や、交

流により農産物の販売促進につなげていくことを目的として、「しいたけ駒打ち援農隊」を実施しました。今回は、首都圏に住む方を中心に24人が援農隊に参加し、緒川地域のしいたけ生産農家5戸の、「駒打ち」や「収穫」作業の手伝いをしました。参加者たちは、丁寧に作業を行い、農作業を手伝ってもらった生産農家からの反応も良好でした。



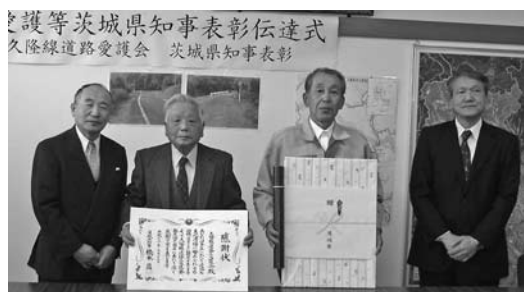
久隆線道路愛護会”の長年の活動に感謝状

3月18日、久隆線道路愛護会（木村新会長）に県知事から感謝状が送られました。

愛護会は発足以来40年にわたり、県道上松沢下小川停車場線、市道猪の草線、市道久隆沢線の美化活動に努め、草刈りやごみ拾いはもちろん、自分たちでできる簡単な補修も行い、生活に欠かすことのできない道路を守ってきました。

2月15日には、発足40周年を記念し農村集落多目的共同利用施設で、総会が開催されています。

感謝状は40年の活動に対し、県知事より送られたもので、これまでに、昭和60年には知事褒章である「茨城県ばら賞」、平成2年と8年には「建設大臣賞」平成5年には「日本道路協会会長賞」を受章しています。



豊島区の森木こり隊ツアー



3月14日、豊島区の皆さんが除伐や下草刈り作業のため、おがわふれあいの森を訪れました。当日は天候が悪く、予定していた作業は実施できませんでしたが、やすらぎの里公園内の施設へ場所を移し、慣れない道具に悪戦苦闘しながら森内に設置する木製ベンチを4台作りました。その後、市内にある物産センターや温泉施設を巡り、常陸大宮市での1日を満喫しました。また、昨年5月には桜植樹地に生い茂った雑草対策のため、「豊島区の森守り隊」が草刈り作業を行い、11月には「豊島区の森づくり隊」が4回目となる桜の植樹を行いました。その際、緒川緑の少年団やグリーン緒川協議会、緒川フォレストなどたくさんの方々にご支援をいただきました。今後も地域間交流事業を通し交流を深め、より多くの豊島区民に本市を紹介していきます。



木こり隊



づくり隊



守り隊



尺丈山「百樹の森」

3月15日、尺丈山「百樹の森」で、ボランティア協議会40人と一般参加者18人が参加し、山ツツジの植栽と枝打ち作業が行われました。



※尺丈山「百樹の森」森づくりボランティア協議会では、会員を募集しています。興味のある方は事務局へご連絡ください。

■問い合わせ先■
美和総合支所経済建設課
農林商工G
58-3851 (直通)

3月7日、市文化センター小ホールで、市読み聞かせ連絡会の発表会が開催されました。



読み聞かせ連絡会は市内の9グループが加入し、日ごろはグループごとに活動をしています。

グループが合同で発表会を行うのは今回がはじめてで、当日、会場には350人の方々が訪れ、人形劇や影絵やめくり絵など、さまざまなお話しの世界を楽しみました。

楽しいお話の世界へ

3月7日、ごぜんやま温泉保養センター四季彩館の入館者が250万人を達成しました。



250万人目の入館者となられた方は、栃木県芳賀郡茂木町在住の上哲夫さんです。

赤上さんには、内田善博理事長から記念品として「認定書」「四季彩館招待券」「柚子ジュース」「柚子ワイン」「地元産イチゴ」が贈られました。四季彩館は平成7年4月22日にオープン。13年11月で入館者250万人を迎えました。

四季彩館入館250万人



スケート教室

3月25・26・27日、笠松運動公園アイススケート場において、市教育委員会主催のスケート教室が開かれ、162人の小学生が参加しました。

スケート初体験の子どもたちも、インストラクターの丁寧な指導であっという間に滑れるようになりました。



また、3月1日には秋山高志氏(元目白大学教授)と真柳誠氏(茨城大学教授)による講演会、14日には「安産・子育ての寺社めぐり」として泉の観音さんや雨引観音(桜川市)などの史跡見学会を行いました。



「人びとの暮らしと健康」

「明治・大正・昭和の常陸大宮」

赤十字救援車が

配備されました

日本赤十字社茨城県支部では、災害救護体制の充実強化を図るため、県内市町村へ計画的に赤十字救援車の配備をしています。

平成20年度は県内の市町村へ合計8台の救援車が配備され、当市へは軽ワゴン車が配備になりました。

この車両は福祉課で管理し、火災等災害に遭われた方々の救援及び赤十字奉仕団の活動等に使用します。

